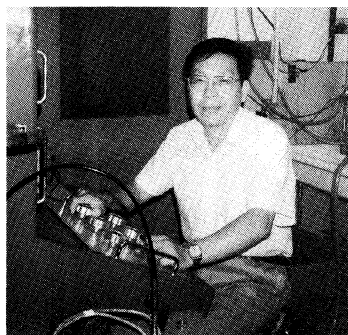


翟 宗玺博士

(1991年5月2日～12月3日滞在)

翟さんは中国科学院派遣の上級訪問研究者として1991年5月2日に来日され、約7ヶ月滞在ののち、12月3日に家族が待ち焦がれている中国に向けて離日された。来日が決まる前から日本語学校に3ヶ月通っておられた為、やりとりはすべて日本文、しかも見事な達筆に驚かされた。中国の知識人は私の知る限り、皆さん字がお上手である。



青海省にある塩湖研究所の研究員として長く研究を続けておられる。青海省といえば随分と西の方、北京より汽車で60時間もかかるといわれる。高原地帯で冬の厳しさには鍛えておられても、日本の蒸し暑い夏には閉口されていた。この塩湖は地図でみても相当大きく、天然資源の宝庫といわれるが、交通が不便なため、開発はあまり進んでいない由である。ここで採れる無機塩類の熱力学的研究が研究課題である。持参された何種類かの無機塩の溶解熱測定を手早く片付けると、蒲池研究室依頼のシクロデキストリン・ポリエチレングリコール系の包接化エンタルピーの測定も手際よく行われた。

1938年生まれ、25才と23才の一男一女の父であり、誠実・温厚の言葉がぴったり性格である。時には談話室で漢字の語源や中国の歴史など、片言の日本語ながら楽しい会話が弾んだ。あまり熱心に研究に没頭されるため、少しは日本の風景を楽しんで頂きたいものと、大台ヶ原一泊旅行のクーポン券をお渡しして、無理矢理行って頂いたほどである。帰阪後、ご持参のカメラに収めた風景を楽しそうにご披露頂いた。運動は殆んどやられなかったが、且てバトミントンでかなりの腕前を示されたようである。趣味は切手蒐集で、私のコレクションと交換したことを思い出す。



去る10月10～12日に鄭州で行われた第6回中国熱測定討論会で、久しぶりの笑顔に接することができ、ホテルのバーで青島ビールで乾杯しながら楽しいひとときを過ごした。

(菅 宏記)

访日印象

翟宗玺

(中国科学院青海盐湖研究所, 西宁)

我于1991年在日本大阪大学理学部菅研究室研修热化学七个月, 得到菅教授、松尾助教授和山室助手的热情帮助和指导, 顺利完成了光卤石、水氟镁石溶解热的研究。在此表示衷心感谢。

菅研究室和微量量热研究中心配备有研究热力学热化学的现代精良仪器设备, 特别是超低温热力学的研究具有世界一流水平。每年接待大批慕名而来的访问学者。菅研究室藏有丰富的图书资料, 从各种工具书、专业图书到国际有名的热力学期刊杂志, 应有尽有, 而且阅读方便, 为研究工作提供了良好的条件。

在大阪大学逗留期间, 在菅教授的安排下有幸到著名旅游地大台庄旅游。大台庄被青山绿水环抱, 空气清新, 景色迷人。日本环境保护之出色令人佩服。

大阪大学(理学部)距大阪市很远, 但交通非常便利, 巴士、的士、地铁和电车, 四通八达。交通设备的发达给日本社会带来了极大方便, 但也使日本政府为应付交通事故而伤脑筋。

这次访日之行, 给我印象最深的是日本教授的热情好客和助人为乐。我初到日本各方面都不熟悉, 菅教授热情详细地介绍了研究室的仪器设备和研究工作情况。帮助我很快熟悉环境投入正常工作。去日本之前, 我只在杂志上见到过菅宏教授的照片。在日本, 我们初次见面是在路上, 我首先认出了菅教授。我研修期间一直在松尾助教授的办公室工作, 他总是耐心地向我介绍日本的大学教育、日本的风土人情, 以及研究室的工作和生活习惯。

访日时间虽然暂短, 但给我留下了美好的回忆, 同时学到了许多研究工作的方法论和实验技巧。多么希望有机会再去菅研究室。

